

会 議 録

- 1 会議名
平成 29 年度第 2 回 吹上・釜蓋遺跡調査指導委員会
- 2 議題（公開・非公開の別）
議事 1 釜蓋遺跡の調査について（公開）
議事 2 平成 30 年度の調査計画について（公開）
報告 1 釜蓋遺跡出土資料について（公開）
- 3 開催日時
平成 29 年 11 月 13 日（月）午後 1 時 30 分から 3 時 00 分
- 4 開催場所
釜蓋遺跡ガイダンス 体験学習室
- 5 傍聴人の数
2 人
- 6 非公開の理由
なし
- 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）
 - ・委員 : 岡村道雄（委員長）、橋本博文（副委員長）、五百川裕、卜部厚志、黒野弘靖、小島幸雄、広瀬和雄
 - ・オブザーバー : 滝沢規朗（新潟県教育庁文化行政課副参事）、川村知行（上越市文化財調査審議会委員長）、木島勉（糸魚川市教育委員会課長補佐）、佐藤慎（妙高市教育委員会主査）
 - ・事務局 : 文化行政課 新保上席学芸員、羽深主任学芸員、草間主任学芸員、湯尾主任、溝内主任、今井学芸員
- 8 発言の内容
別紙のとおり
- 9 問合せ先
教育委員会文化行政課 TEL : 025-545-9269
E-mail : bunkagyousei@city.joetsu.lg.jp
- 10 その他
別途の会議資料も併せてご覧ください。

平成 29 年度第 2 回 吹上・釜蓋遺跡調査指導委員会

平成 29 年 11 月 13 日（月）午後 1 時 30 分～3 時 00 分

釜蓋遺跡ガイダンス 体験学習室

議事 1 釜蓋遺跡の調査について

① 大型竪穴建物跡（SI1152）について

〔質疑・意見〕

委員) 平面で確認された炭化物から、焼失建物である可能性はあるのか。

事務局) 過去の調査例（SI83）と比較すると、その可能性はある。ただし、土層断面での証拠は確認されていない。

委員) 炭化物が壁板や垂木などの部材であるのか、確認をしてほしい。

〔方針〕

- ・ SI1152 の平面で確認された炭化物について、内容を確認する。〔H29〕

② その他の竪穴建物跡について

〔質疑・意見〕

委員) SI1566 は直径 9m と規模が大きいので、途中で柱がないと上屋を支えることが難しい。中央に見える落ち込みは柱穴ではないか。

事務局) 柱穴の痕跡は確認されていない。落ち込みは炭が集中して確認されているので、炉跡の可能性が指摘されている。

③ 土坑について

〔質疑・意見〕

委員) SK1570 の覆土の特徴はどうであったのか。

事務局) 覆土は上下 2 層に分かれ、上層はⅢ-2 層に近い土、下層は白色粘土ブロック混じりの土層が確認された。

事務局) SK1570 は中世の墓の可能性があると指摘を受けて、一部調査を行った。しかし中世と特定できる出土遺物は確認されず、土層断面でも墓の痕跡などは確認されなかった。

委員) SK1570 は柱痕跡が見られないので柱穴でもないだろう。

④ 円形にめぐる溝について

〔質疑・意見〕

委員) SD1571 で遺構の用途や機能が推測できる出土遺物はあったか。

事務局) 確認できなかった。

委員) SD1571 の性格を定めるために、土壌の水洗選別を行うべきである。

委員) 他の遺跡の例では、貯蔵の施設ではないかと言われている。溝の中から米などが出土する例もある。

委員) 他の遺跡では、竪穴建物跡の出入り口付近で確認されている例もある。

事務局) 釜蓋遺跡では今回の例を含めて 5 基が確認されており、竪穴建物跡の近くにある印象を受ける。

〔方針〕

- ・ SD1571 の性格を明らかにするため、覆土の一部を水洗選別する。〔H29〕

議事 2 平成 30 年度の調査計画について

〔報告〕

- ・ 平成 30 年度の調査は、21 年度からの調査課題解決のための補足調査と位置付けている。
- ・ 中央部の竪穴建物跡（SI1152）を部分的に調査し、性格を明らかにしたい。
- ・ SI1568 についても、遺構の範囲を確認したい。
- ・ 調査面積が少なく、竪穴建物跡の検出例の少ない中央部南側についても、調査区を設定し、遺構の分布状況を確認したい。
- ・ 手工業に関連した遺構・遺物の確認については、手工業生産の可能性が高い遺構が確認された場合、遺構を部分的に調査したい。

① 大型竪穴建物跡（SI1152・SI1568）の調査について

〔質疑・意見〕

委 員）大型の竪穴建物跡を調査して、性格を明らかにすることが 10 年間の調査成果と考える。

委 員）2 つの竪穴建物跡は軸が合っており、計画的に作られているように見える。

委 員）遺構の前後関係を知るために、SI1152 の調査だけでなく SI1568 の調査も必要である。

〔方針〕

- ・ 大型竪穴建物跡については、SI1152 の調査のほか、SI1568 についても一部調査する。〔H30〕

② 遺跡の構造把握のための調査について

〔質疑・意見〕

委 員）中央部南側で遺構がないのか、広場なのかを確認するならもっと広く掘るべきである。

委 員）川跡の縁を調査してはどうか。（例えば SI1516 の東側）

委 員）環濠集落の中のゾーニング（居住域、広場、宗教的施設、出入り口など）が分かりそうなところがあれば、調査すべきである。

委 員）今まで検出された竪穴建物跡について、時期差・新旧関係を整理すべきである。

委 員）竪穴建物跡を長軸・短軸・床面積等で並べた一覧表を作成し、総括報告書に載せてはどうか。

〔方針〕

- ・ 中央部南側の調査については調査面積等を検討する。〔H30〕
- ・ 手工業の確認については、その可能性のある遺構が認められた場合、調査して確認する。
- ・ 川跡周辺の調査については、今後の課題として次期調査計画の中で検討する。
- ・ 竪穴建物跡など遺構の新旧関係について整理を行い、今後の調査等に反映させる。

③ その他

〔質疑・意見〕

- ・ 来年度の調査について、予算や体制も含めて検討してほしい。
- ・ 遺構確認面の高さを調べて、等高線を確認してほしい。

報告 1 釜蓋遺跡出土資料について

1 線刻土器について

〔報告〕

- ・平成 25 年度調査区出土遺物から、新たに線刻土器 4 点を確認した。

〔質疑・意見〕 特になし

2 遺物整理作業

〔報告〕

- ・ 29 年度調査区から出土した遺物は、調査と並行して水洗作業を実施している。

〔質疑・意見〕 特になし